

令和3年度 大鹿村森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

令和5年1月

1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり（大鹿村森林経営管理制度実施方針）

2 森林環境譲与税導入の効果

- 地籍調査完了地区における対象森林（10年以内に施業のない人工林）について、森林所有者への意向調査が実施できました。
- 既存の補助事業では対応できていない部分を支援の対象として、森林の保護対策を行い、森林の保全が図られました。
- 法面保護工について、工種に丸太柵工を採用し、カラマツ材を使用することにより、間伐材の有効利用が図られました。
- 次年度以降の事業推進に使用するため、残額を基金に積み立てました。

3 森林環境譲与税を活用した事業一覧

（1）森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
⑦基金積立（森林整備等）	大鹿村森林環境譲与税基金へ積立	7,424	7,424	0	今後増加が見込まれる森林経営管理制度に基づく村自らが実施する森林整備に備えた積立		次年度以降の事業推進に使用するため、残額を基金に積み立てました。
小計		7,424	7,424	0	0		

（2）その他事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
②森林所有者の意向調査	所有森林に関するアンケート調査	7	7	0	対象森林所有者を対象に森林経営に関するアンケート調査（意向調査）を実施	対象森林所有者:52名（回答:31名）	地籍調査完了地区において、対象森林所有者へアンケート調査を実施することにより、今後の森林経営の意向が確認できた。調査結果により、村等へ経営管理をお願いしたいと回答された方について、今後の森林管理に向けた詳細確認や現地調査を進めています。
⑦その他（森林整備）	村単治山（R2年度から繰越）	3,190	3,190	0	令和2年度の豪雨により山林法面が崩落する被害が発生した箇所について、法面保護を中心とした治山工事を実施	法面保護工 A=321.4m ² かご柵工 L=36.0m 木柵工 L=25.0m	豪雨により被災した林野の法面について、崩壊が拡大しないよう治山工事を実施することで、森林の保全が図られました。
⑦その他（森林整備）	村単治山支障木伐採	594	594	0	豪雨により地すべりが発生した箇所について、林道沿線の支障木を伐採	林道沿線支障木伐採 47本	地すべりにより不安定となった法面の立木を伐採・撤去することで、森林の保全が図られました。
⑦その他（森林整備）	村単治山	539	539	0	豪雨により山林法面が崩落する被害が発生した箇所について、法面保護を中心とした治山工事を実施	法面工 A=45m ² 木柵工 L=6.0m	豪雨により被災した林野の法面について、崩壊が拡大しないよう治山工事を実施することで、森林の保全が図られました。
小計		4,330	4,330	0	0		

合計

11,754

11,754

0

0